

「第9回まちづくり市民会議」議事要旨

○アドバイザー・事務局含め全46名中、34名参加

○以下、次第に即して記載

1. 開会挨拶（薄議長）

前回会議で委員各位から出された意見を踏まえ、市民会議の今後の進め方、スケジュールをお示しし、また、会津若松市のあるべき姿、理想像について議論をしていきたい。

2. 新規参画委員について

今回会議より新たに1名（女性／30代／子育て中）が参画することとなったため紹介。

3. 議事

（1）前回会議において委員各位より出された意見等について

前回会議において委員より出された意見等について、市民会議としての共通認識醸成を図るために、考え方を整理し提示した。

⇒特に意見・質問等無し

（2）今後の進め方について

前回会議での委員要望を踏まえ、市民会議の今後の進め方（市民会議において自治基本条例が必要との共通認識を形成した後に、一定の目標として①条例草案の作成②草案をもとに市民意見の広聴を経て素案を作成）を提示した。

（時間の都合上、次回会議において内容について議論）

（3）グループワーク（別添グループワーク発表内容参照）

前回会議での委員意向を踏まえ、今後自治基本条例の「前文」について議論していくベースとなり得る「会津若松市のあるべき姿・理想像」について、委員間の共通認識醸成を図るために議論した。

4. 会議総括（薄議長）

- まちづくりの理想像やあるべき姿について共通した考えが多く見受けられたように思う。（⇒コミュニティの活性化（コミュニケーションの活発化）、情報共有、安全・安心、若者の雇用の確保等）
- まちづくりのビジョン、方向性を掲げ共有を図っていくことが、多くの市民を巻き込むことにつながる。
- 今日の議論の内容は、そのまま自治基本条例のベース、材料になる。

以上